



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東
 コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 恵一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,647	4.4	504	△34.1	559	5.2	347	23.4
29年3月期第2四半期	19,776	2.8	765	599.5	531	288.2	281	585.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 413百万円 (ー%) 29年3月期第2四半期 △33百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	45.61	ー
29年3月期第2四半期	36.98	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	22,374	11,353	50.7	1,491.74
29年3月期	19,976	11,077	55.5	1,455.44

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,353百万円 29年3月期 11,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	18.00	18.00
30年3月期	ー	0.00			
30年3月期(予想)			ー	12.00	12.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 特別配当 6円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	5.0	1,150	△29.4	1,200	△32.6	650	△41.0	85.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,700,000株	29年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	89,005株	29年3月期	89,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	7,610,995株	29年3月期2Q	7,611,039株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益および雇用・所得環境に緩やかな回復基調が継続して見られたものの、米国の金融政策の影響や、北朝鮮を始めとした地政学的リスクなどにより、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、輸入品や原材料価格は安定して推移したものの、個人消費は緩やかな回復に留まっており、一定の厳しさを残した経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、『経営基盤の拡大』と『新事業の成長』をテーマとした第10次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発、およびマーケティング力の強化」、第三に「利益構造の改革」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20,647百万円（前年同四半期比4.4%増加）となり、前年同四半期実績を大幅に上回ることができました。一方、利益面につきましては、売上高の拡大や売上原価の抑制などにより、売上総利益は増加いたしました。ごぼう茶関連製品のプロモーション強化に係る諸経費やユーティリティー費用の増加などにより、営業利益は504百万円（前年同四半期比34.1%減少）となりました。経常利益は、円安進行に伴うデリバティブの時価評価益の計上などにより、559百万円（前年同四半期比5.2%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は347百万円（前年同四半期比23.4%増加）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「Ⅱ 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

①業務用食品等

販売面におきましては、「ちらし寿司の日」や「季節ごとの恵方」など各種イベントに合わせた販売促進活動や、主要都市での展示会開催、新製品およびリニューアル品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組みに加え、北海道、沖縄、甲信越、北陸、千葉など新規エリアでの拡販体制をさらに強化してまいりました。これらの結果、厚焼玉子を中心とした玉子製品に加え、調理済冷凍食品などの自社企画ブランド品、水産物を中心とした仕入商品などの売上が拡大いたしました。

生産面におきましては、自社工場製造製品の売上拡大に伴い高い生産稼働率を維持できたことや、省エネ活動、生産技術の向上による歩留まりの改善などにより製造原価の低減は図れたものの、ユーティリティー費用の上昇や、増産を目的とした工場の設備投資に伴う減価償却費負担などにより、製造原価率は前年同四半期並みとなりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、19,403百万円（前年同四半期比2.6%増加）、セグメント利益（営業利益）は、1,404百万円（前年同四半期比0.1%減少）となりました。

なお、平成29年9月をもって味堪（広州）餐饮管理有限公司の飲食店「巻楽」（広東省広州市）を閉店しております。

②ヘルスフード

販売面におきましては、テレビCMや、紙媒体、電子媒体などでの販促・広告活動を積極的に行った結果、通信販売を中心とした定期顧客が大幅に増加いたしました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上も、新規開拓やインスタプロモーションの強化により、前年同四半期実績を大幅に上回る結果となりました。

生産面におきましては、好調な売上が背景に高い生産稼働率を維持することができたことに加え、開発面におきましても、さらに健康を意識した製品の開発を進めた結果、「あじかん焙煎ごぼう茶」の新作として、焙煎とブレンド技術を駆使した最高品質の『国産焙煎ごぼう茶プレミアムブレンド ごぼうのおかげ』を製品化し、10月1日からの販売準備を完了しております。

これらの結果、外部顧客への売上高は、1,243百万円（前年同四半期比43.1%増加）と大きく伸ばいたしました。プロモーション強化に係る諸経費が増加したため、セグメント利益（営業利益）は、121百万円（前年同四半期比17.0%減少）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,397百万円増加し、22,374百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,145百万円増加し、11,154百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加1,587百万円、原材料及び貯蔵品の増加254百万円、現金及び預金の減少711百万円などがあります。なお、受取手形及び売掛金の増加は、当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことから、債権の回収が翌連結会計期間にずれ込んだためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,252百万円増加し、11,219百万円となりました。これは、減価償却の進行に伴う減少要因はありましたが、有形固定資産において、増産を目的とした工場の設備投資により、機械装置及び運搬具(純額)が増加したことに加え、新工場建設などにより、その他(純額)に含まれる建設仮勘定が大幅に増加したためであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,121百万円増加し、11,020百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,525百万円増加し、9,476百万円となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加1,173百万円、支払手形及び買掛金の増加647百万円、賞与引当金の増加114百万円、未払法人税等の減少223百万円、その他に含まれる未払消費税等の減少95百万円などであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ596百万円増加し、1,544百万円となりました。主な増加要因は、政策的な借入による長期借入金の増加589百万円、繰延税金負債の増加67百万円などであります。なお、平成29年6月29日開催の当社株主総会の終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止したことにより、前連結会計年度まで計上しておりました役員退職慰労引当金は、第1四半期連結会計期間より長期未払金として計上しております。

また、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ1,763百万円増加し、4,694百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、11,353百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加347百万円、その他有価証券評価差額金の増加91百万円、剰余金の配当による減少136百万円、為替換算調整勘定の減少29百万円などであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.8ポイント減少し、50.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ711百万円減少し、906百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、799百万円(前年同四半期は1,251百万円の獲得)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益551百万円、減価償却費327百万円がありましたが、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資本面での資金使用1,136百万円、法人税等の支払額412百万円などが主な内容となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,489百万円(前年同四半期比288.0%増加)となりました。これは、新工場建設に係る投資、生産設備の増強投資・メンテナンス投資などが主な内容となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,582百万円(前年同四半期は8百万円の使用)となりました。これは、長期借入れによる収入1,000百万円、短期借入金の純増加額900百万円、長期借入金の返済による支出137百万円、配当金の支払額136百万円などが主な内容となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は、売上高は、販売・価格競争が厳しさを増すなか、主に厚焼玉子を中心とした玉子焼類やごぼう茶などの自社製造製品の需要が拡大し、当初予想(平成29年5月12日公表)を上回る結果となりました。また、利益面につきましても売上高の拡大効果に加え、当社主要原材料である鶏卵・魚肉すり身価格が当初の想定以下で推移したことや、生産稼働率の向上などにより、当初予想を大幅に上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、平成29年11月に竣工予定の新工場稼働に伴う先行的な費用負担や、業績に大きな影響を与える冬場の原材料価格の動向、為替、株価、原油価格など、先行き不透明で流動的な要素も多くありますが、当第2四半期連結累計期間までの状況を勘案し、当初予想を変更しております。詳細につきましては、平成29年11月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627,786	916,283
受取手形及び売掛金	4,902,736	6,489,949
商品及び製品	2,129,425	2,051,114
仕掛品	6,479	9,307
原材料及び貯蔵品	940,652	1,195,266
繰延税金資産	128,373	165,344
その他	285,716	350,501
貸倒引当金	△11,746	△23,113
流動資産合計	10,009,424	11,154,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,883,098	1,871,183
機械装置及び運搬具(純額)	1,471,201	1,717,103
土地	3,371,100	3,362,489
リース資産(純額)	64,077	71,717
その他(純額)	1,296,858	2,187,918
有形固定資産合計	8,086,337	9,210,412
無形固定資産		
ソフトウェア	42,917	34,675
リース資産	24,184	17,356
その他	30,338	29,316
無形固定資産合計	97,440	81,347
投資その他の資産		
投資有価証券	934,615	1,071,016
長期前払費用	3,124	3,073
その他	884,351	902,450
貸倒引当金	△38,678	△48,444
投資その他の資産合計	1,783,412	1,928,097
固定資産合計	9,967,190	11,219,857
資産合計	19,976,615	22,374,511

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,791,778	3,439,544
短期借入金	2,489,000	3,662,856
リース債務	50,011	47,189
未払法人税等	478,406	255,077
賞与引当金	284,000	398,000
役員賞与引当金	35,636	23,914
その他	1,821,873	1,649,490
流動負債合計	7,950,706	9,476,073
固定負債		
長期借入金	442,000	1,031,144
長期末払金	—	215,009
リース債務	63,701	65,096
役員退職慰労引当金	253,219	—
退職給付に係る負債	113,781	89,953
資産除去債務	52,955	53,083
繰延税金負債	21,366	89,034
その他	1,500	1,500
固定負債合計	948,524	1,544,822
負債合計	8,899,231	11,020,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	8,451,254	8,661,425
自己株式	△64,361	△64,361
株主資本合計	10,588,133	10,798,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,336	390,266
繰延ヘッジ損益	10,063	—
為替換算調整勘定	222,190	192,604
退職給付に係る調整累計額	△41,339	△27,559
その他の包括利益累計額合計	489,251	555,311
純資産合計	11,077,384	11,353,615
負債純資産合計	19,976,615	22,374,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,776,318	20,647,346
売上原価	14,511,023	15,121,347
売上総利益	5,265,295	5,525,999
販売費及び一般管理費	4,499,377	5,021,341
営業利益	765,918	504,657
営業外収益		
受取利息	1,218	817
受取配当金	11,602	11,409
持分法による投資利益	9,733	15,935
長期為替予約評価益	—	25,378
為替差益	—	17,996
その他	28,533	11,316
営業外収益合計	51,088	82,854
営業外費用		
支払利息	11,790	9,284
為替差損	18,594	—
長期為替予約評価損	237,468	—
その他	17,667	18,888
営業外費用合計	285,521	28,172
経常利益	531,485	559,339
特別利益		
固定資産売却益	—	1,996
特別利益合計	—	1,996
特別損失		
固定資産除却損	2,514	9,748
役員退職慰労金	138,816	—
特別損失合計	141,330	9,748
税金等調整前四半期純利益	390,155	551,586
法人税、住民税及び事業税	119,105	215,444
法人税等調整額	△10,368	△11,026
法人税等合計	108,736	204,417
四半期純利益	281,418	347,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,418	347,169

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	281,418	347,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,490	91,930
繰延ヘッジ損益	△4,547	△10,063
為替換算調整勘定	△204,369	△21,234
退職給付に係る調整額	13,779	13,779
持分法適用会社に対する持分相当額	△63,062	△8,351
その他の包括利益合計	△314,691	66,059
四半期包括利益	△33,272	413,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,272	413,229
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	390,155	551,586
減価償却費	284,606	327,725
退職給付費用	19,815	19,815
賞与引当金の増減額(△は減少)	86,000	114,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,547	△11,722
長期未払金の増減額(△は減少)	—	215,009
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,996	△253,219
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△22,701	△23,827
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33,272	21,132
持分法による投資損益(△は益)	△9,733	△15,935
受取利息及び受取配当金	△12,821	△12,227
支払利息	11,790	9,284
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,996
有形固定資産除却損	2,514	9,748
役員退職慰労金	138,816	—
売上債権の増減額(△は増加)	△140,160	△1,602,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	188,551	△183,041
仕入債務の増減額(△は減少)	300,992	649,135
未収入金の増減額(△は増加)	△1,081	24,422
未払金の増減額(△は減少)	25,160	87,809
未払消費税等の増減額(△は減少)	46,797	△95,461
その他	146,206	△216,407
小計	1,418,082	△387,070
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△79,841	△412,021
役員退職慰労金の支払額	△86,554	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251,687	△799,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,592	△4,374
有形固定資産の売却による収入	—	10,607
有形固定資産の取得による支出	△375,119	△1,524,881
無形固定資産の取得による支出	△5,606	△767
利息及び配当金の受取額	12,820	34,575
その他	△11,312	△4,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,810	△1,489,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	900,000
長期借入れによる収入	300,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△172,000	△137,000
利息の支払額	△10,913	△11,896
リース債務の返済による支出	△34,195	△32,319
配当金の支払額	△91,367	△136,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,477	1,582,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,149	△5,164
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	810,249	△711,502
現金及び現金同等物の期首残高	1,446,914	1,617,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,257,164	906,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成29年6月29日開催の第53期定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切支給を決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、打切支給額の未払分215,009千円を固定負債の長期未払金に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務用食品等	ヘルスフード			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	18,907,278	869,039	19,776,318	—	19,776,318
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	8,672	8,672	△8,672	—
計	18,907,278	877,712	19,784,990	△8,672	19,776,318
セグメント利益	1,405,920	146,674	1,552,595	△786,677	765,918

(注) 1. セグメント利益の調整額△786,677千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△780,064千円及びたな卸資産の調整額△6,720千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務用食品等	ヘルスフード			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	19,403,407	1,243,939	20,647,346	—	20,647,346
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	16,594	16,594	△16,594	—
計	19,403,407	1,260,533	20,663,941	△16,594	20,647,346
セグメント利益	1,404,415	121,674	1,526,089	△1,021,432	504,657

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,021,432千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,029,226千円及びたな卸資産の調整額7,629千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行ったことに伴い、報告セグメントを従来の「営業部門」及び「生産部門」から「業務用食品等」及び「ヘルスフード」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。